

たんぽぽのちえ

うえむらとしお文
せとあきら絵

①春になると、

たんぽぽの

黄色い きれいな

花が さきます。

②二、三日 たつと、

その 花は しぼんで、

だんだん 黒っぽい

色に かわって いきます。



○黒い
○黄色い

そうして、たんぼぼの花のじくは、ぐったりとじめんにたおれてしまっています。

③ けれども、たんぼぼは、かれてしまったのでは、ありません。花とじくを、しずかに休ませて、たねに、たくさんのえいようをおくって、いるのです。

こうして、たんぼぼは、たねを、どんどん太らせるのです。

④ やがて、花は、すっかりかれて、そのあとに、白いわた毛が、できてきます。

⑤ このわた毛の、一つ一つは、ひろがると、ちょうど、らっかさんのようになりまします。たんぼぼは、このわた毛について、いるたねを、ふわふわと、とばすのです。

⑥ このころになると、それまでたおれていた、花のじくが、またおき上がります。そうして、せのびをするように、ぐんぐんのびていきます。



太らせる
わた毛

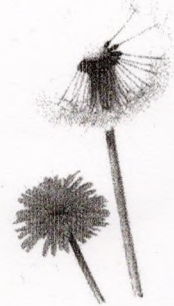


らっかさん



⑦ なぜ、こんなことをするのでしょう。それは、
せいを高くするほうが、わた毛に風がよく
あたって、たねをとおくまでとばすことができます。
るからです。

⑧ よく晴れて、風のある日には、わた毛のらっか
さんは、いっぱいひらいて、とおくまでとんで
いきます。



○風が
○高い

○晴れる

⑨ でも、しめり気の多い日や、雨ふり
の日には、わた毛のらっかさんは、
すぼんでしまいます。それは、わた毛が
しめって、おもくなるので、たねをとおく
までとばすことができないからです。
⑩ このように、たんぼぼは、いろいろな
ちえをはたらかせています。そうして、
あちらこちらに、たねをちらして、あた
らしいなかまをふやして、いくのです。

○多い
しめり気

